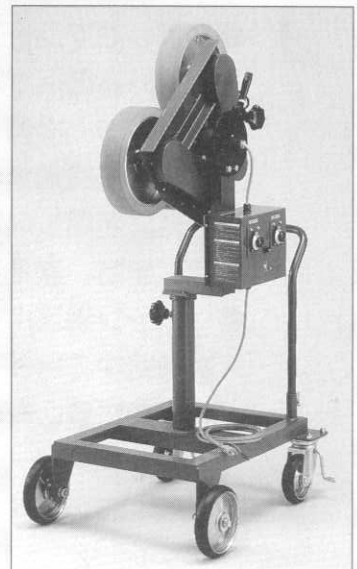
COMPACT KNOCK MACHINE

コンパクトノックマシーン

取扱説明書 ■使用前に必ずお読みください

このたびは、コンパクトノックマシーンを購入していただき、ありがとうございます。

- マシーンを使用する前に、この説明書を熟読し、内容を良く理解した上で操作してください。
- 安全に正しく使用していただくために、この説明書は大切に保存してください。

COMPACT KNOCK MACHINE

CONTENTS

マシーンが到着したら

●到着したマシーンが、注文された商品であることを確認してください。

品番・使用電圧・使用球等…

⚠●到着したマシーンが、運送途中、その他のトラブル等で損傷・破損している箇所がないか慎重に点検・確認してください。
もし万一、損傷・破損が認められた場合は、運送会社もしくは、購入先の販売店まで至急連絡してください。この場合は、マシーンを絶対に使用しないでください。事故や破損部の拡大の原因になります。また、運送保険の適応を受けることができなくなります。

●マシーン到着より点険、確認、連絡まで5日以上経過していますと、運送途中のトラブルが原因の修理に対して運送保険の適応が受けられなくなり、有料になる場合がありますので予めご了承ください。

マシーン使用前に確認していただきたいこと

マシーンに使用するコンセントの形状（代表例）

⚠ ■マシーンに使用するコンセントに流れている電圧をテスターで確認してください。
■使用コンセントを変更する場合も同様に計測してください。
■この商品はAC100V専用です。AC200Vで使用しますとコントローラーが破損します。

コンセントの表示又は型式により電圧を自己判断するのは危険です。必ずしもコンセントの形状に合った電圧がきているとは限りません。
テスターにより、電圧を実測してください。

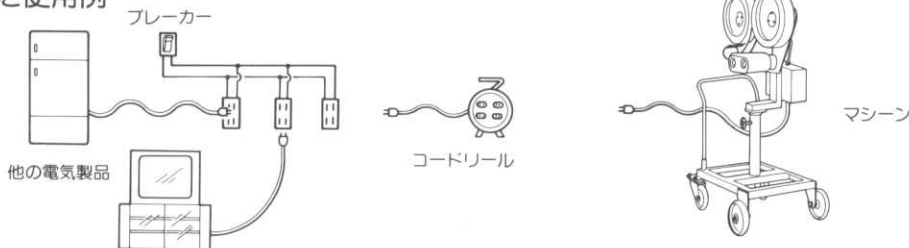
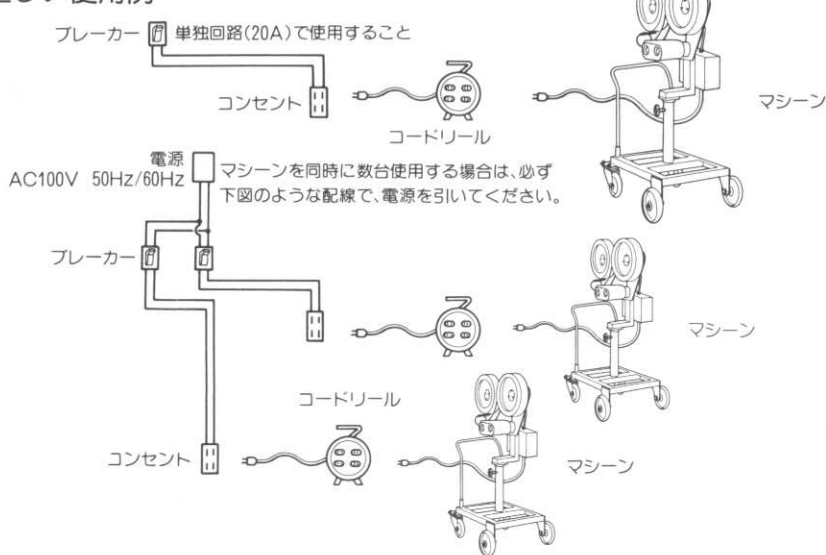
■マシーンに使用するコンセントは、単独回路(20A)で使用してください。
下図に示すような状態で使用した場合は、ブレーカーが落ちることがあります。

誤った使用例

ブレーカー
他の電気製品
コードリール
マシーン

正しい使用例

ブレーカー　単独回路(20A)で使用すること
コンセント
コードリール
マシーン

電源
AC100V　50Hz/60Hz
マシーンを同時に数台使用する場合は、必ず下図のような配線で、電源を引いてください。
ブレーカー
コードリール
マシーン
コンセント
マシーン

■マシーンに使用するコンセントのブレーカーは20A(アンペア)を使用してください。

注）20A(アンペア)以下のブレーカーを使用すると、マシーンの電源スイッチを入れ、速度を上げる途中でブレーカーが落ちる場合があります。

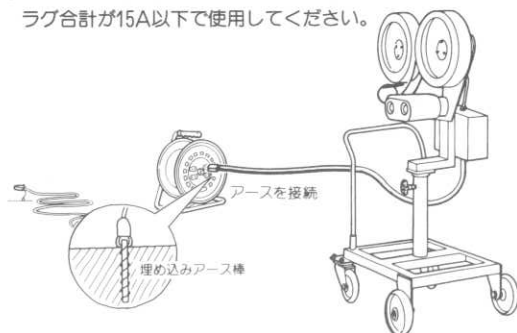
■マシーン使用前には、常に、リード線に傷等が入っていないことを確認してください。万一、被覆に傷があり、銅線が見えている場合は、適切な処置を施してから使用してください。(ショートや感電の恐れがあります。)

■コードリールを使用する際、マシーンからコンセントまで距離が短い場合でも、コードは必ず全部引き出してください。

注）全巻時7Aを超過した場合コードが発熱し、被覆が溶けてショートして燃えることがあり、大変危険です。

●コードリールはプラグ１つで15A以下か、又は４つのプラグ合計が15A以下で使用してください。

■コードリールの、全巻時の最大定格電流は7Aです。全て引き出したときに、定格電流は15Aになります。(100V・50m・15A用)

■電源に発電機を利用する場合は、1800W以上の商品を使用してください。

マシーン始動及び使用中・そして終了時

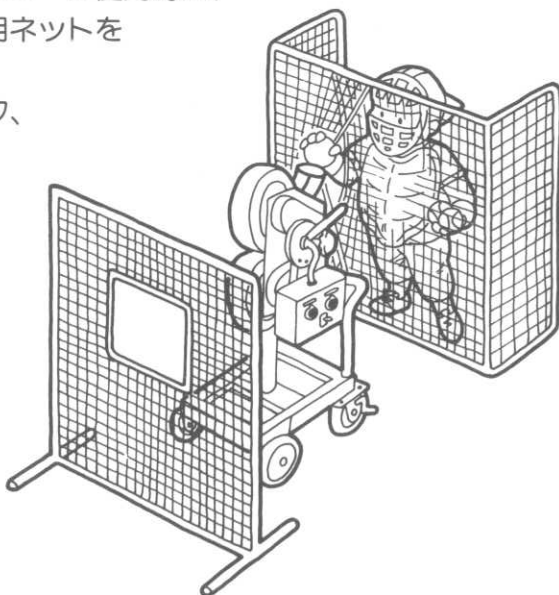
■マシーン始動前に、スピード調節ダイヤルが０の位置になっていることを確認してください。また、回転部に接触物がないことを確認の上、スイッチをONにしてください。

注）スピード調整ダイヤルが、高速回転の位置になったままの状態でマシーンの電源スイッチを入れると、ブレーカーが落ちる場合があります。

■マシーンの電源スイッチは、必ずスピード調整ダイヤルを０に戻してから切ってください。

■ホイルの回転を上げる場合、スピード調整ダイヤルは、できるだけゆっくり回してください。ダイヤルを急激に高速回転の方向に回すと、故障やヒューズが切れる原因になります。しかも、モーター、及びコントロールBOXの耐久性が低下します。また、それに加えてリード線・コードリールに過電流が流れるため、傷みが早くなり接触不良の原因になります。

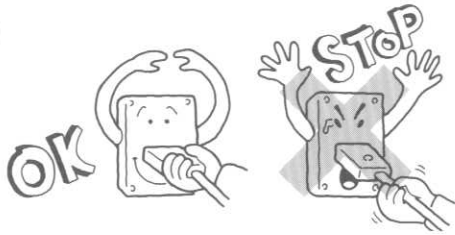
⚠安全上守っていただきたいこと

- マシーンの取扱は、この説明書をよく理解された方が実施してください。
- マシーンの取扱は、マシーンの危険性を理解できない子供には操作させないでください。
- マシーン使用中は、マシーンの周囲、及び使用範囲(ボールが届くと思われる範囲)には、関係者以外近づけないようにしてください。
- 人の安全とマシーンの保護のため、マシーン使用時は、必ずマシーン前ネット、及び投球者用ネットを設置してください。
- オペレーターは、ヘルメット、マスク、プロテクターを着用してください。
- マシーン調整時、キャッチャー、バッターは付けないでください。万一頭部等に当った場合、死に至る恐れがあります。

⚠事故及びマシーンの故障を防ぐために

- マシーンを操作する人は、常に周りに気を付け、マシーンの前を横切る人がいないかどうか確認してください。
- ボールノック並びに投球時には大きな声で合図し、必ず安全確認をした後、投球してください。
- 回転している部分には、絶対にふれないでください。
- アースは必ず接続して使用してください。
- 雨天での使用はしないでください。漏電することがあります。
- 濡れたボールはスリップするため、コントロールが悪くなりますので、使用しないでください。
- コードリールは、全て引き出して使用してください。
- スイッチを入れるときは、ダイヤルが0になっているかどうかを確認の上で行ってください。
- マシーン使用後は、必ずダイヤルを0に戻してから、スイッチを切ってください。

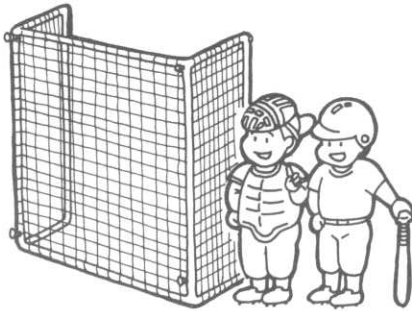
COMPACT KNOCK MACHINE

⚠必ず守ってください ―― 事故や器具の故障を防ぐために

❶

●差込みプラグは、必ず根元を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になり、大変危険です。

❹

●マシーンの使用前に、リード線・シュート部・ホイル等に異常がないか点険してください。
特に、ホイルは高速回転しますので、ハガレ・キズ・裂けめ等の有無やアルミ部にヒビ・ブレがないか点検してください。

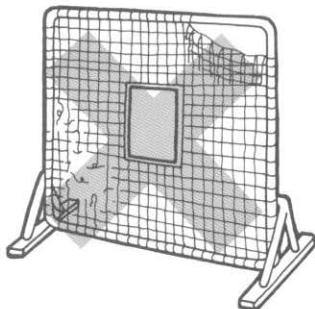
❷

●マシーンを使用した練習時には、オペレーターは安全のために、必ずヘルメット、マスク、プロテクター等の防具を着用してください。また、投球者用ネットも使用してください。
複数の打席で、同時にバッティング練習をするときは、他打席の打球にも十分注意してください。

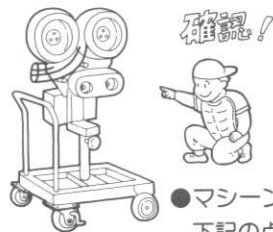
❺

●マシーンの運転中は、危険ですから絶対にマシーンの前を横切らないようにしてください。

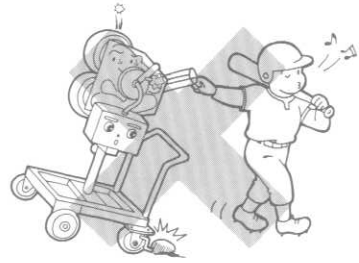
❻

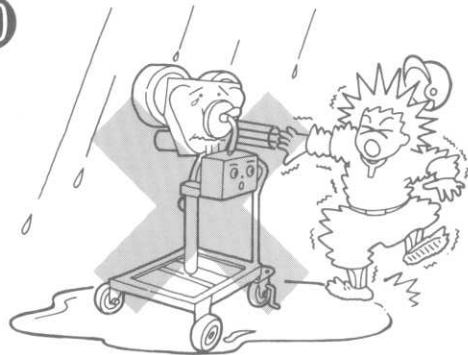
●ボールノック、並びに投球時には必ず声を出して合図をしてください。(イラストはネットを省略しています。)

❸

●マシーンの前には、マシーン前ネットを、マシーンに接触しない間隔をあけて、設置してください。特に、古くなったネットや、ロープが切れてぶらさがっているネットは、修復して使用してください。ホイル(回転部)に巻き込む危険性があります。

❼

●マシーンを移動する前に、下記の点について注意!
マシーンの固定ネジが全て締まっているか、確認の上移動してください。

⚠必ず守ってください ―― 事故や器具の故障を防ぐために

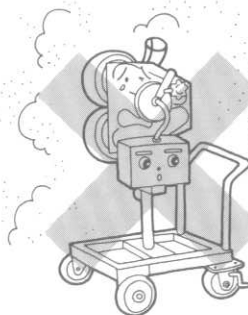
●マシーンの移動は慎重に行ってください。
このマシーンは重心が高いので、転倒させたり、強い衝撃を与えたりしないように、注意してください。
マシーンを移動するときは、手押しハンドル以外のところは持たないでください。特にシュートを引っ張らないでください。ボールをはさむ位置がずれ、コントロールが悪くなる他、破損・故障の原因にもなります。

●マシーンの仕様に合ったボールを、必ず使ってください。

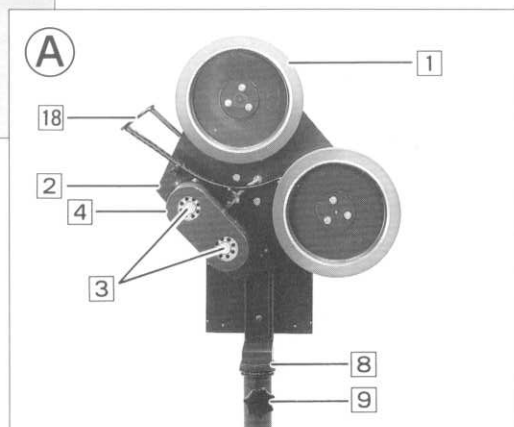
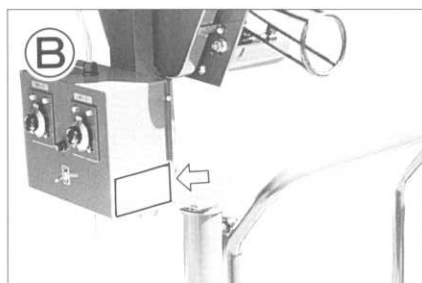
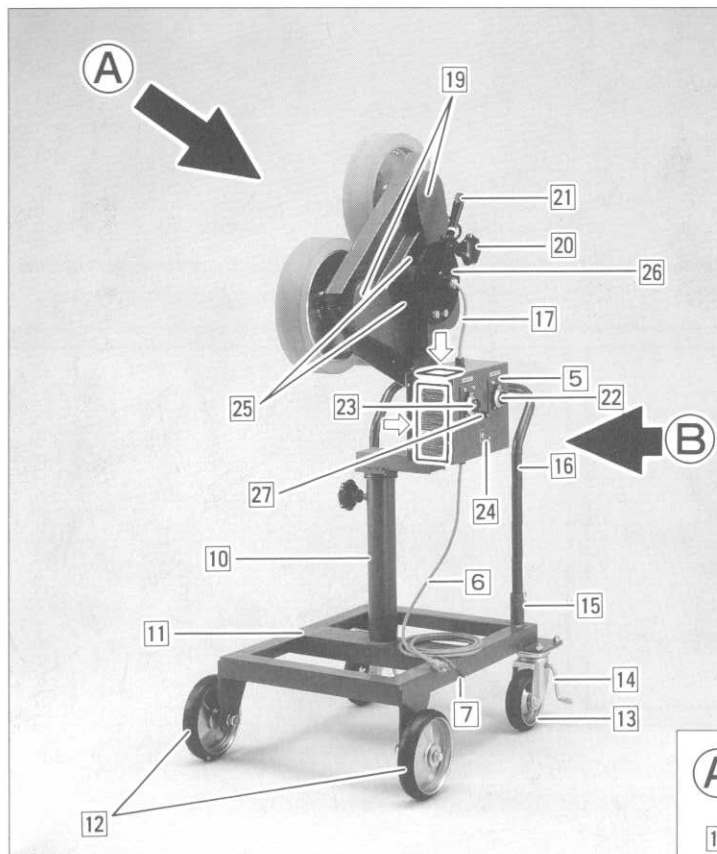
⑩

●雨の日は、絶対にマシーンを使用しないでください。また、マシーンは雨や水で濡らさないようにしてください。マシーンの使用中に雨が降り始めましたら、直ちに雨のかからない場所に格納するか、雨や水がかからないような処置をしてください。

> 注）このマシーンは防水機能を備えていませんので、電気系統に水が入ると漏電する恐れがあります。また、故障の原因になります。
> 万一、濡れた場合には完全に乾いてから使用してください。

●コードリールも同様に取り扱ってください。

⑪

●マシーンは、屋内で、湿気やホコリの少ない場所に保管してください。
また、石灰と同じ場所に、保管しないでください。石灰は、空気中の水分を集めますので、湿気のため、商品の耐久性が落ちたり、ウレタンホイルの寿命を縮める原因になります。特に、石灰の付いたボールは、絶対に使用しないでください。

各部の名称と機能

各部の名称

1 ウレタンホイル	10 本体支軸	19 ベルトカバー
2 本　　体	11 架　　台	20 上下角度固定ハンドル
3 モーター	12 固 定 車	21 上下角度調整用バー
4 モーターカバー	13 自 在 車	22 上部ローター（速度調整バーニアダイヤル）
5 コントロールBOX	14 ブレーキハンドル	23 下部ローター（速度調整バーニアダイヤル）
6 リード線・差込みプラグ	15 移動用取手固定ネジ	24 電源スイッチ
7 アース接続口	16 移動用取手	25 本体回転ストッパー
8 本体回転部	17 モーター接続リード線	26 本体回転軸
9 本体回転止めハンドル	18 シュート	27 ヒューズ（ガラス管・20A）

※上記図中の ⇨ 位置は17ページ「警告シール」の装着場所を示します。

主要部の機能及び使用方法

※下記・□No.は前ページの名称と対応しています。

●5コントロールBOX

24電源スイッチのON，OFF、並びに２つの1ウレタンホイルの回転数調整を実施する本体の最も主要な部分です。

●9本体回転止めハンドル

左に回し緩めると、8本体回転部より上が360度自由に回転し、右に回し締めると、その位置で固定されます。

●13自在庫

この後部２車輪は文字通り自由自在に回転しますので、移動に効果を発揮します。その上、14ブレーキハンドルが両輪に装着されていますので、これを足で止めることにより、定位置にしっかり固定することができます。

●16移動用取手

手間を掛けず移動するためのものですが、15移動用取手固定ネジを外すことにより、取り外せますので、マシーンを固定したときも邪魔になりません。

●18シュート

ボールの挿入口です。

●20上下角度固定ハンドル

左に回し緩め、21上下角度調整用バーを持って動かすと、26本体回転軸を中心にして本体が前後に傾きます。ボールの飛出し角度に合わせ位置を調整し、決まりましたら右に回して固定します。

●22上部ローター，23下部ローター（速度調整バーニアダイヤル）

1ウレタンホイルをそれぞれ単独に回転させせることのできる速度調整用ボリュームです。双方のホイルの回転数を変えることにより、数多くの球質を生み出すことが可能です。

なお、バーニアダイヤルを採用することにより、急激な回転数の上昇を押え、安全性を高めました。

COMPACT KNOCK MACHINE

マシーンの特長

●小型DCモーターの使用により、大変軽量、コンパクトになりました。
●定位置に連続してノックまたはボールを落とすことができるため、多人数による長時間の連続補球練習を可能にしました。
●守備練習機としてだけでなく、ピッチングマシーンとしても使用できます。
●速度調整ダイヤルに、バーニアダイヤルを採用していますので、微調整が簡単に行えます。
●ウレタンホイルを使用していますので、コントロールが良く、摩耗も少なくなりました。
●左右のホイル双方に速度調整バーニアダイヤルがあり、それぞれの速度を変化させることにより、色々な球質を投球することが可能です。
●ワゴン車等の普通車にも乗せることができ、遠征にも活用できるマシーンです。

正しい使用方法と活用例

使用方法

●下記文中・名称の後に付いている□No.は7ページの「各部の名称」に対応する表示No.です。

電源に発電機を使用する場合は、発電機の使用説明書を良く理解した上で、操作してください。

❶コードリールを使用する場合は、必ず全部引き出してください。

マシーンからコンセントまでの距離が短い場合でもコードリールは必ず全部引き出してから使用してください。
コードを巻いたまま使用しますと、コードが発熱し、被覆が溶けてショートすることがあり大変危険です。

❷マシーンをホームベース付近に設置し、自在車輪にブレーキ⑭をかけます。
❸アース接続口⑦を地面に接地し、マシーンの差込みプラグ⑥をコンセントに接続します。
❹左右双方のバーニアダイヤル㉒㉓が「0」になっていることを確認した上で、電源スイッチ㉔を入れてください。
❺バーニアダイヤル㉒㉓を片方ずつゆっくり上げてください。
（ホイルの回転が設定回転数に達するまで約1分程かかります。）

左右双方のバーニアダイヤル㉒㉓を急に高速設定にすると、大きな電流が一時的に流れ、本体のヒューズが切れたり電源のブレーカーが落ちることがあります。また、モーター等の故障や機材の消耗を早める原因にもなります。

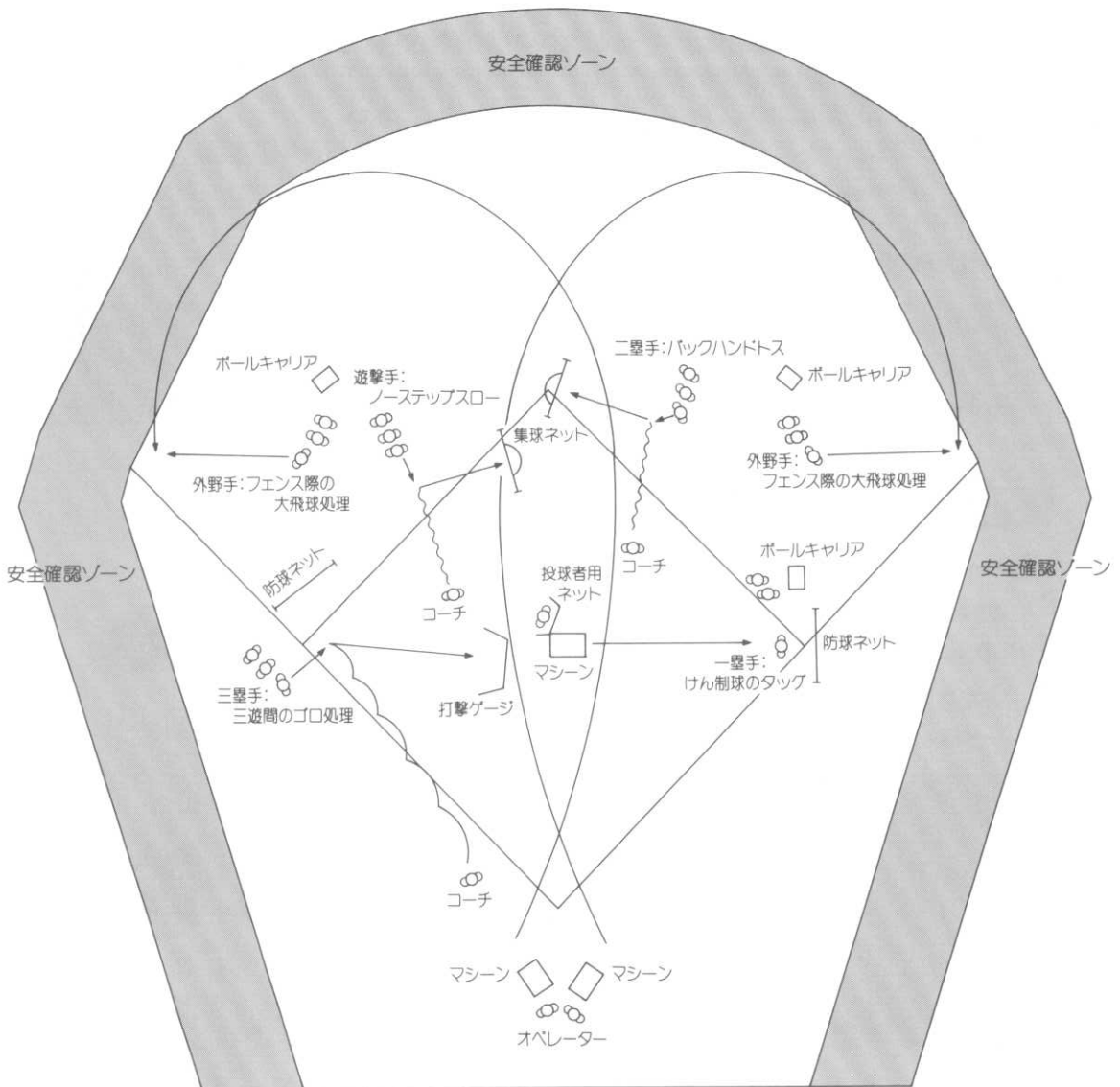
❻周囲の安全確認をした後、ボールを2～3球投球し、速度，角度，高さを調整していきます。
詳しくは11ページ 色々なボールの出し方 を参照してください。
❼調整が終わりましたら、それぞれの用途に合わせて使用してください。
（活用例としては10ページ「マシーンと防球ネットの活用例」を参照してください。）
❽使用が終わりましたら、バーニアダイヤル㉒㉓を「0」に戻し、電源スイッチ㉔を切り、差込みプラグ⑥を抜き、アース接続口⑦を外してください。

マシーンと防球ネットの活用例

●マシーンをノックマシーンとして捕球練習をする場合

注）フィールドの周囲の安全確認を十分にしてください。
マシーンを使用して、追い風時に大飛球処理の練習をする場合は、特に注意してください。

※大飛球は風の影響により、飛距離・方向が変わります。

安全確認ゾーン
ボールキャリア
遊撃手：ノーステップスロー
二塁手：バックハンドトス
ボールキャリア
集球ネット
外野手：フェンス際の大飛球処理
外野手：フェンス際の大飛球処理
安全確認ゾーン
防球ネット
コーチ
ボールキャリア
安全確認ゾーン
投球者用ネット
コーチ
マシーン
防球ネット
一塁手：けん制球のタッグ
三塁手：三遊間のゴロ処理
打撃ゲージ
コーチ
マシーン
マシーン
オペレーター

守備練習用ネット＆マシーン配置例

※大飛球は、追い風により5～10m飛距離が、のびる場合があります。
安全確認ゾーンには、関係者以外の人が入らないように注意してください。

色々なボールの出し方

■ボールについて

下記のようなボールは、コントロールが悪くなる場合があります。

- ●糸切れ，皮切れ，皮の浮いているボール，水を含んで重いボール等は、投球が変化します。また、古いボールと新しいボールを混ぜて使用しないでください。
- ●ウレタンボールを使用しますと、ボールのウレタンがホイルに付着し、ホイルのボール接触面が盛り上がってきますので、できるだけ使用しないでください。万一付着した場合は、サンドペーパーや平ヤスリで取り除いてください。
- ●レインボール(表面ゴム製)は皮ボールに比べスリップしやすいため、スピードボール投球時にコントロールが乱れる場合があります。(120㎞／h以上)
- ●濡れているボールはスリップするため、使用しないでください。
- ●マシーンのシュートにボールを投入するとき、縫い目を決めて投入する方が、しないときに比べ、コントロールがより良くなります。

■ボールの変化について

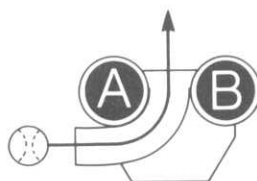
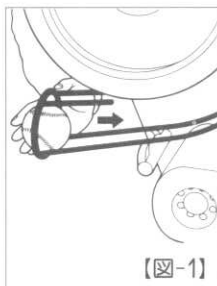
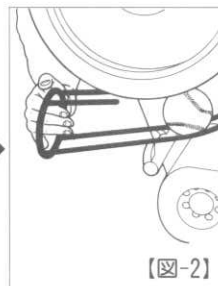
●基本的にボールは、高速回転している方から、低速回転している方へ変化します。
また、回転数の差が大きいほど、ボールの変化も大きくなります。
両ホイルの回転の組み合わせにより、色々なボールを投球することができます。

ノックマシーンとして使用する場合

❶キャッチャーフライ

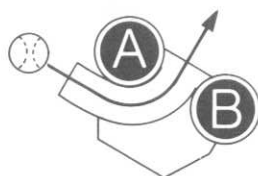
Ⓐホイル(上部ローター)……低速

Ⓑホイル(下部ローター)……高速

※本体は地面と平行、ボールの飛出し口が真上になります。(若干Ⓐよりに傾けてもよい)

注）右の【図ー1】【図ー2】を参考に、ボールはシュートの挿入口から指で弾くように、ホイルまでころがしてください。
(この場合､他と違いボールに力を与えないと、ボールはホイルに到達しません。但し、危険ですから、決して指をシュートの横合から入れたりしないでください。)

【図-1】　【図-2】

❷内野フライ(ポップフライ)

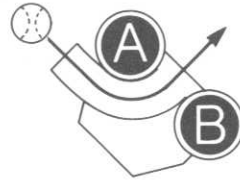
Ⓐホイル(上部ローター)……低速

Ⓑホイル(下部ローター)……高速

※本体の傾きを45°～60°にしてください。

❸外野フライ

Ⓐホイル(上部ローター)……低速

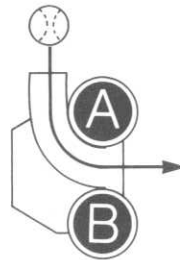
Ⓑホイル(下部ローター)……高速

※本体の傾きを30°〜45°にしてください。

❹ゴロ(バウンドボール)

球足の速い打球

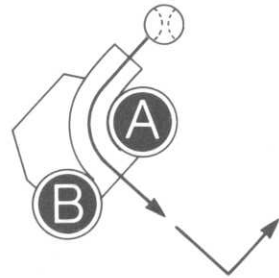
Ⓐホイル(上部ローター)……高速

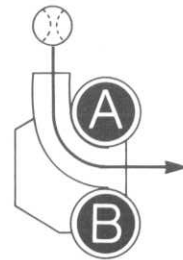
Ⓑホイル(下部ローター)……低速

※ボール飛出し口が地面と平行になります。

❺高いバウンドボール

Ⓐホイル(上部ローター)……高速

Ⓑホイル(下部ローター)……低速

※ボール飛出し口の傾きを下に
45°位にして調整してください。

ピッチングマシーンとして使用する場合

●ボール飛出し口の傾きは全て地面と平行です。

❶ストレートボール

Ⓐホイル(上部ローター)……高速

Ⓑホイル(下部ローター)……低速

❷縦に落ちるボール

Ⓐホイル(上部ローター)……低速

Ⓑホイル(下部ローター)……高速

❸フォークボール

Ⓐホイル(上部ローター)
Ⓑホイル(下部ローター)
}…同速

❹ナックルボール

Ⓐホイル(上部ローター)
Ⓑホイル(下部ローター)
}…ほぼ同速(わずかにⒶホイルの回転を速めてください。)

各部の点検・調整及び交換方法

モーターのカーボンブラシ点検及び交換方法

■マシーンを使用開始後１年経過しましたら、モーターのカーボンブラシを点検してください。
１年後からは半年ごとに点検し、カーボンブラシが減っているときは早めに交換してください。

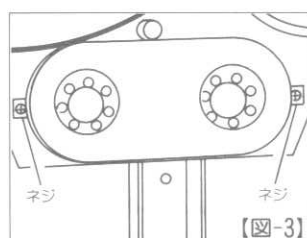
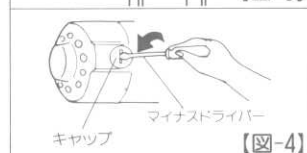
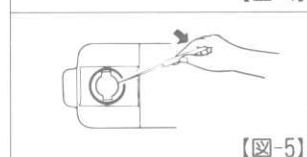
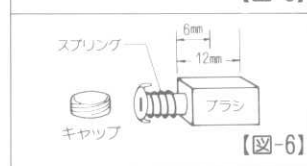
●モーターのカーボンブラシを規定量以上使用すると、モーターのカーボン接触面に傷が入り、新しいカーボンブラシと取り替えても、短時間で消耗してしまうようになりますので、点検は必ず定期的に行ってください。（この場合モーターの交換となります。）
※マシーン本体に、使用開始日を記入しておくと便利です。

■点検及び交換

❶【図－３】のようにモーターカバーの両脇２箇所を止めてあるネジをドライバー（プラス）で外し、カバーを取り外してください。
❷モーターの底辺部分に【図－４】のように、プラスチック製のキャップが、１つのモーターの左右に各１箇所ずつあります。
❸プラスチック製のキャップは、マイナスのドライバーで左側に回すとキャップが外れます。（【図－４】参照）

注）このとき、プラスチック製のキャップを割らないように注意してください。

❹キャップが外れましたら、先のとがったもので【図－５】のように、矢印の方向に回すと、中からカーボンブラシが出てきます。（周囲のプラスチックを割らないように、注意してください。）
●モーターのカーボンブラシは、新品で12㎜あります。これが約半分（６㎜）になりましたら交換してください。【図－６】

注）モーターのカーボンブラシは、各販売店に注文してください。この場合は有料になります。

ホイルについて

■このようなときは、ホイル交換の時期です。
・ホイルの表面が溶け出しているとき（さわると粘着性がでている）
・ホイルとアルミ部が剥離してきているとき（手で押えて確認のこと）
・ホイルをつめではさむと引きちぎれるようになったとき（輪ゴムの古くなったような状態になっているとき）

注）石灰がホイルに付いていたり、湿気の多い所で保管していると、ホイルの傷みが早くなります。（特にウレタンホイルは注意してください。）

ホイル間隔の調整について

■マシーンを長年使用していますと、コントロール能力が落ちてきます。

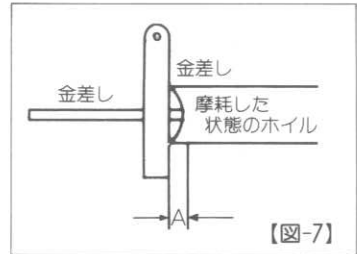
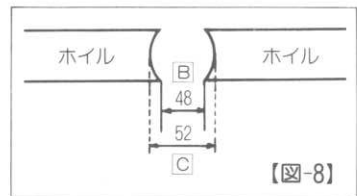
【図-7】

原因　ホイルが摩耗して、ボールを挟む力が減少し、スリップしている。

処置　ホイルの間隔を、減っている分だけ縮めます。

方法　ホイルの減りを測ってください。金差しを2本用意してください。【図－7】のようにして(A)の寸法を測ります。（両方のホイル共）

●(A)の寸法が2㎜あったとしますと、ホイルの間隔Ⓒは減っていない状態で52㎜ですから、【図－8】のⒷの間隔を48㎜に調整すればよいことになります。

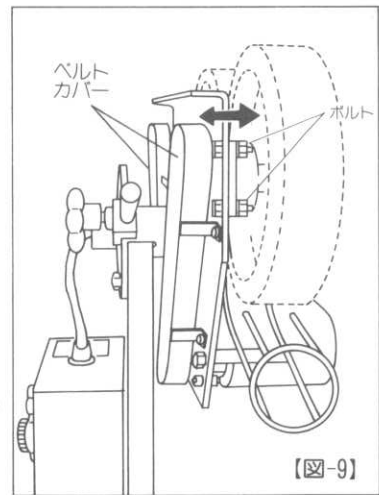
【図-8】

ホイル間隔の調整方法

❶作業をスムーズに進行させるため、まず裏側に付いているベルトカバーを外して置きます。

❷【図－9】のボルトを、4本づつ緩めて矢印の方向にスライドさせます。（スライド幅が大きい場合は、両側のホイルで、間隔を調整します。片側だけで間隔調整しますとシュートがホイルに当たることがあります。）
適正間隔に調整して、緩めたボルトを締め付けて終了です。

●半年から1年ごとに左右のホイルを入れ替えますと、ホイルの片減りが防げます。

●極端にホイルが減った場合は、一度研磨をしてください。研磨の場合は、最寄りの販売店にホイルを取り外して、持ち込んでいただければ、約1週間で返送いたします。ホイルを研磨されますと、ホイルが小さくなる分だけ最高速度も多少遅くなります。また、研磨後の調整方法も、上記の方法で行ってください。

【図-9】

次の場合は故障ではありません

故障と思う前に

A 発電機を使用……速度が出ない

原因　発電機の容量不足が考えられます。

処置　マシーンを家庭用電源で使用してみてください。

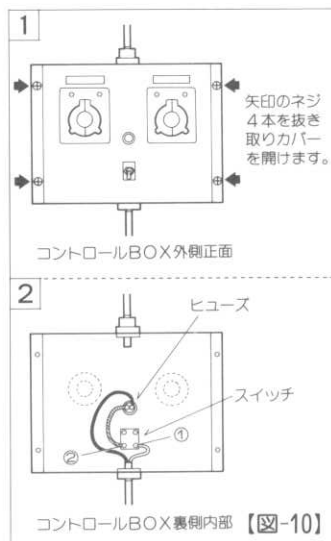
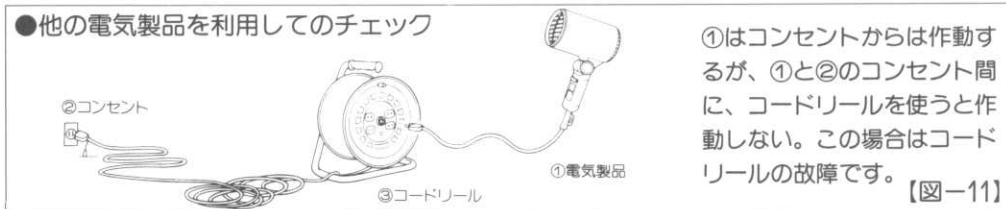
B マシーンのスイッチを入れても作動しない

原因　1コードリールの不良、若しくは電源のブレーカーが落ちている。
2マシーン本体のヒューズが切れている。
3マシーンのモーターとカーボンブラシが消耗、もしくは接触不良。
4コントロールBOXの内部破損(接触不良等)。

調査・処置
- 1については、テスターを使って調べるか、【図−11】のようにしてチェックしてください。
- 2については、マシーンのコントロールBOX部にあるヒューズを点検してください。
- 3については、モーターのカーボンブラシを両側共一度取り出し、入れ直してください。
- 4については、【図−10】の要領で外側カバーを取外し、裏側内部の①、②にテスターを入れ、電気が通っているかを確かめてください。
- 上記1〜4以外の場合は、販売店に連絡してください。

【図-10】

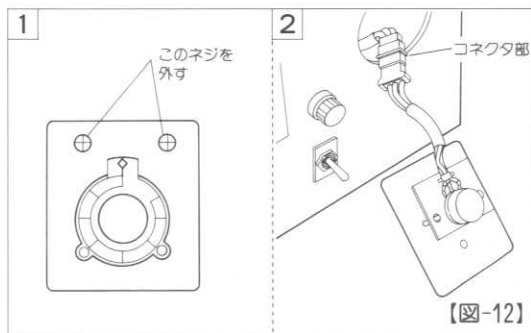
●他の電気製品を利用してのチェック

①はコンセントからは作動するが、①と②のコンセント間に、コードリールを使うと作動しない。この場合はコードリールの故障です。【図−11】

C スイッチを入れバーニアダイヤルを回してもホイルが回転しない、若しくはスイッチを入れると同時に高速で回転したままバーニアダイヤルを回しても停止しない

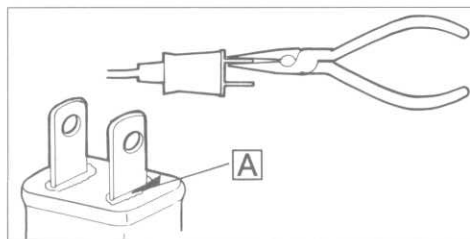
原因　バーニアダイヤル内部での接触不良、又は破損していることが考えられます。

調査・処置　バーニアダイヤルを次の手順で交換してください。

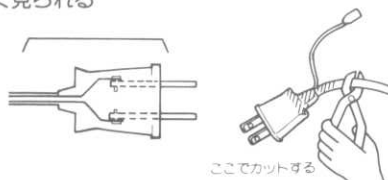
1. Bの【図ー10】1の要領でカバーを開けます。
2. 【図ー12】1のように、まずバーニアダイヤル部の表のネジを外し（裏・ナット付)、プラスチック板を取外すと2のように中からコネクタ部(接続部)が出てきます。ここで配線ごと抜き取り、新しいバーニアダイヤルを接続して元に戻してください。

【図-12】

D スイッチがONの状態でホイルが回転したり、しなかったりする

原因
1 モーターのカーボンブラシがキチンと入っていない。
2 差込みプラグ自体の接触不良。
3 バーニアダイヤルのコネクタ部の接触不良。

調査
- 1については、モーターのカーボンブラシを2ヵ所共一度取り出し、入れ直してみてください。
- 2については、【図ー13】を参考に【図ー14】のように修理してください。
- 3については、バーニアダイヤルのコネクタを一度抜いて再度キチンとはめ込んでください。

- 図のようにプラグの差込先をペンチで断続的に軽く引っ張り、抜けないか確認してください。
断線している場合は抜けることがあります。
- 図のA部分が熱により溶けていびつになり、すきまができている場合も断線の可能性があります。

【図ー13】

この間で断線していることが多く見られる

- プラグの根元部分は、酷使されるため、図の斜線部分の内部で断線することが多く見られます。
左右のホイルが両方共作動しないときの多くの原因となっています。このようなときは、市販されているプラグと交換してください。

【図ー14】

E マシーンを長年使用していると、新しいボールを使っても、ボールがホームベースまで届かなかったりすることがある

原因
1 ベルトが緩んでいる。
2 ホイルが摩耗して、ホイルとホイルの間隔が広くなりボールがスリップしていることが考えられます。

調査・処置
- 1については、ベルトの交換になります。
- 2については、14ページ「ホイル間隔の調整方法」にしたがって調整してください。修理は工場扱いになります。 **有料**

COMPACT KNOCK MACHINE

警告シールについて（一覧）

●警告シールの装着場所については、7ページ「各部の名称」の本体図を参照してください。

安全に使用する為に

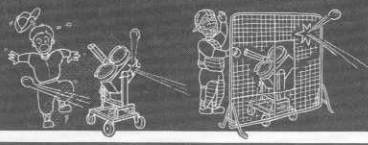
○事故や故障を防ぐため、マシーン使用前には必ず取扱い説明書をお読み下さい。
○マシーン作動と安全な使用方法を充分理解して、ご使用下さい。
○マシーンの投球は必ず1人で行って下さい。
○野球（ソフトボール）の練習以外には、使用しないで下さい。

▲警告　▲重要事項

○使用する時はマシーン前ネット、マシーン投球者用ネットを使用して下さい。
○投球者は、ヘルメット、マスク等の防具を着用して下さい。
○試投中キャッチャー、バッターはバッターボックスより安全な所まではなれて下さい。
○使用中にマシーンの前に出たり、横切らないで下さい。
⚠感電を防ぐために
○雨天ではマシーンを使用しないで下さい。
○アースを接続後使用して下さい。

▲注意　▲事故、故障を防ぐために

○マシーンを移動する時はゆっくりと行って下さい。
○本体を持ち上げる時は、大人2人以上で行って下さい。
○雨のかからない所に保管して下さい。
○回転部には触れないで下さい。
○マシーン使用前に破損部がないか点検を行って下さい。
○投球は5秒以上の間隔をあけて下さい。

AC100V専用　硬式ボール用
カーボンブラシは、6ケ月に一度点検して下さい。

注意事項

漏電による感電を防ぐために…

●必ずアースを接続してください。
●マシーンを濡らさないよう願います。
●雨が降り始めましたら、直ちに使用を中止してマシーンを濡らさないような処置をしてください。

電気配線について…

電気配線が長すぎる場合や、コードがドラムに巻かれた状態のままでの使用は、電圧低下をまねき、ピッチングのスピードダウンの原因になります。このような場合は、電気工事店にご相談ください。電気配線はできるだけ短く、コードリールは伸ばして配線してください。（詳しくは電気工事店にご相談ください）

受電盤　マシーン　コードリール　マシン用コンセント

マシーン本体に貼ってあるシールがはがれたり、消えたりした場合は、すぐに販売店に連絡してください。無償にて送付致します。
また、ここに掲載されているシールは、実物大とは異なりますので予めご了承ください。

仕　様

■使用球：硬球
■電動機：177W　DCモーター2台（入力AC100V，出力DC100V）
■電　源：AC100V　50／60Hz（定格電流　AC3.0A×2）
■ボール飛出速度：0～120km/h
■サイズ：縦810mm×横740mm×高さ1200mm
■ボール飛出口高さ：1150mm（飛出口が地面と平行状態のとき）
■重　量：84kg

オーバーホールについて

●マシーンの使用開始後、約5年経過ごとにオーバーホールの実施をお薦めします。
オーバーホールを行うことにより、マシーンをより長持ちさせ、常に良い状態で使用していただけます。

なお、オーバーホールに関しては、販売店に相談してください。

アフターサービスについて

このコンパクトノックマシーンには、保証書を別途添付してあります。

1 保証書について

保証書は販売店で渡しますので、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確認の後、保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

2 修理を依頼されるとき

⑴保証期間中

保証期間中に修理を受けられる場合には、お買い上げの販売店に相談してください。
保証書の記載内容により、販売店で修理します。

●保証期間中でも、有料修理になる場合がありますので、保証書の内容はよく理解しておいてください。

⑵保証期間を過ぎているとき

お買い上げの販売店にまず相談してください。修理により商品の機能が維持できる場合には、要望により有料で修理致します。

3 サービスを依頼される前に

この取扱説明書をよくお読みいただき、再度点検の上、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店へ依頼してください。その際、製品品番(品名)、故障内容を必ず伝えてください。

4 保証期間は、お買い上げの日より、1年間です。

5 操作及び、取り扱いミスによるマシーンの損傷は、保証外になりますので注意してください。

6 アフターサービスについて不明な点は

お買い上げの販売店に問い合わせてください。

■ホイルの巻き直しに関しては行っておりません。

製造元
株式会社トーアスポーツマシーン
BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES
本　社　〒551 大阪市大正区泉尾1丁目36番9号 TEL.(06)552-8247(代表)
松坂工場　〒515 三重県 松阪市上川町長楽3456-2 TEL.(0598)28-6669(代表)

1995.1.500 AP